

第884号

令和4年1月7日

佐渡市立金井小学校

佐渡ことば・こころの教室

教室だより

〒952-1209

佐渡市千種丙178番地1

TEL:0259(63)4156(直)

4115(代)

FAX:0259(63)4117

E-mail:skotoba@sado.ed.jp

HP:<http://kanai-es.sado.ed.jp>

(教室だよりのバックナンバーも掲載中)

伴走者として



佐渡市教育委員会
教育長 新発田 靖

学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続け、子供一人一人の学びを最大限引き出し、主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たしている。

これは、令和3年3月12日の中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』において実現すべき教師を巡る理想的な姿」として示されたものです。

「伴走者」というと目の不自由な方が走ることを支える人をイメージします。その2人をつなぐ紐は「絆(きずな)」と呼ばれ、思い切って走れる「安心感」を伝えることが大事だそうです。

どの子どもにも、安心して学びを進め、自立の力と社会性を身に付け、自己実現が図られることが求められます。

「佐渡ことば・こころの教室」は、開設当時から保護者と共にこのことを大事にして運営されてきたと思います。これからもこの精神を大事にして、ますます充実した教育がなされることを願っています。



『花粉症のか・き・く・け・こ』

佐渡総合病院 耳鼻咽喉科
医長 吉岡 邦暁

冬真っ盛りの時期になりました。皆さんは体調を崩さずに日常生活を過ごしていますか。気が付いたら辛い辛いスギ花粉シーズンが目前の時期を迎えてしまいました。そもそも、花粉症は、原因となる抗原や発症時期から通年性と季節性に大別されます。通年性は、家のほこりや室内塵ダニ、カビ、ペット(イヌ、ネコ等)が原因となり、喘息やアトピーの合併が多いです。一方、季節性はスギ、ヒノキ、イネ科、ヨモギ、ブタクサと各季節によって開花時期が異なってきます。また、アレルギー性結膜炎の合併や特定の食物の摂取で口腔やのどの粘膜にかゆみが出現しやすいと言われています。

ここでは、わかってはいるけど日常生活の中で意識してほしいことを『花粉症のか・き・く・け・こ』でまとめてみました。

か…かんぜん防備で外出:めがねやマスクでがっちりガード。

き…きたく時の花粉おとし:衣類についた花粉を玄関でしっかり払いましょう。

く…くすりを使用:花粉の飛び始める前から内服がポイントです。

け…けんこう管理は十分に:睡眠, 食事, 運動をバランスよくとりましょう。

こ…こまめに掃除, 家の中:こまめに家の中を掃除し, 定期的に布団を干しましょう。

以上を意識して, 少しでも快適な日常生活を心掛けましょう。

自分が何の花粉症のアレルギーかは, 血液検査で調べることが可能です。対処の一助にも繋がるので, 耳鼻咽喉科にお気軽にご相談ください。

安心できる暮らしのために

突然ですが、以下は誰に対応するときの心構えでしょう。

- ・ながながと話さず、簡潔に話す。
- ・肯定的な言葉を心掛ける。
- ・言葉が出なくても、せかさず、ゆったりした雰囲気待つ。
- ・「予定」や「することの順序」を見えるようにする。
- ・興奮しているときは、安全に配慮した上でそっと一人にする。

これらは、認知症の方への対応の一部です。親や自分に関係するため、この手の本を読むことが増えました。すると、「できないことに目を向けるのではなく、できることを活かす」「笑顔で接する」「その人を尊重する」等、支援が必要な子どもたちへの対応と共通することが多いことに気がきました。ある本に「認知症の本質は暮らしの障害である」とありました。暮らしの中で不具合が生じやすく、不安を感じる機会が多いところは、支援が必要な子どもたちも似ています。安心したり、落ち着いたりするための対応が似るのは当然なのでしょう。

現在の日本は少子高齢化が進み、「少子」である子どもに支援が必要な子どもが増え、高齢者に認知症の方が増えています。誰もが安心して暮



らせる共生社会に少しでも近づけるよう、子どもたちとのかかわりで得たことを、地域で生かしていきたいと思います。

(中村哲裕)

親の会コーナー



保護者の声

中学生保護者

きっかけはある保育士さんの声かけでした。何だかわからないけれど何かが気になっていた。その保育士さんのおかげで現状を知ることができた私は、心のもやもやがなくなり穏やかな気持ちで接することができるようになりました。この教室では親子ともに多くの学びと成長があり中学校卒業と同時に、今までの手厚い支援がなくなることに不安

を感じています。昨年度、親の会の活動で佐渡市内の高等学校に「通級指導教室」の設置を求める活動が行われました。残念ながら、すぐに高校通級をつくることは難しいとのこと。近い将来、小学校から高等学校卒業まで、途切れることなく適切な指導を受けられる日がくることを願っています。



親の会書籍の紹介



親の会の役員様からご紹介いただき、購入しました。金井小待合室にあります。ぜひ手にとってみてください。貸し出し可能です。

『みんなとおなじくできないよ』

作：湯浅正太 絵：石井聖岳

この本の物語は、小学生のころの、私の実体験をもとにしたものです。私のように、みんなと同じようにふるまえない兄弟姉妹のいる人に、「キミはひとりぼっちじゃないよ」と伝えたくて、この絵本をつくることにしました。(あとがきより)

